

### 3. 事業の必要性

本地区の基幹的な農業水利施設である大秋排水機場及び覚路津排水機場は、国営新津郷土地改良事業(昭和47年度～平成元年度)により造成されましたが、経年的な施設の劣化により排水機能の維持に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。また、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

### 4. 排水機場(大秋・覚路津)の概要



機場名	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	全揚程 (m)	排水機		台数 (うち可動翼)	原動機	
			形式	口径(mm)		形式	動力(kw)
大秋排水機場 (1984年(S59年)完成)	30.0	3.0	横軸円筒形軸流	2,100	3(2)	電動機	400～540
	39.0	5.3	横軸円筒形軸流	2,100	4(2)	電動機	660～670
覚路津排水機場 (1984年(S59年)完成)	49.0	5.7	横軸円筒形軸流	2,200	4(2)	電動機	870

### 5. 整備水準

- ・ 1/15確率 3日連続 224.2mm
- ・ 中央山型(1日目46.6mm,2日目141.6mm,3日目36.0mm)
- ・ 許容湛水：30cm以上24時間以内